

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666
FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

経営者への活きた言葉

21世紀の経済（その1、21世紀は答えのない世界） 大前 研一（ビジネス・ブレークスルー代表取締役）

- 今から 15 年後の 2035 年ごろの世界がどうなっているのかをイメージする必要があります。21 世紀の経済は、サイバー社会、ボーダレス社会、マルチブル（倍率）社会、そして現実の社会の四つが一緒になってできている「目に見えない経済大陸」です。目に見えないものは、誰も教えることはできない。つまり自分で探しに行くしかない。
- では、どうすればいいのか。これまでのように誰かから教えてもらい、それを覚えるという学びのスタイルでは駄目。自分で学びたいことを選び、自ら学ぶ。そういう姿勢が不可欠です。教えられたことをひたすら覚えることが得意だった人たちは、これから A.I. に仕事を置き換えられてしまうでしょう。
- 21 世紀は「答えのない世界」です。だから、「教える」という概念もなくなる。デンマークやフィンランドでは、1990 年代半ばに「教えない」教育にいち早く切り替えました。もともと答えがあるわけではないので、クラスの一人一人が違った意見を持っていて当然です。皆が意見を出し合い議論しながら、最後は一つの意見にまとめていく。その際に必要になるのがリーダーシップ（統率力）です。これは決して A.I. では置き換えられない能力であり、世界のどこに行っても通用する能力です。答えは覚えるものではなく、発見し、日増しに改善していくものなのです。（参考：「週刊ダイヤモンド」2018 年 5 月 12 日号）

経営者のための理念・哲学

本来の人間の目的

阿純章（天台宗圓融寺住職）

- 子供たちが真剣に遊んでいる姿を見ていて、臨濟義玄禅師の「隨所に主と作れば、主の處皆真なり」という言葉は、まさにこれだと。子供の生き方が禅の教えとピタッと合致していることを実感して、ああこれが本当に仏教の伝えたいことだなと実感しました。
- 子供たちはどんな所にいても、いま、ここは主人公です。大人は立身出世とか、お金儲けとかいろいろな目的を持ちますが、子供の姿を見ていたら、人生の目的なんか別に持たないで、ただ元気よく遊んで意欲を發揮している。仏様の世界に一番近いのは子供であって、彼らのようにいま、ここにただ意欲を發揮することが、本来の人間の目的ではないかと感じました。（参考：「致知」：2018 年 7 月号）

経営者のための営業学

発見をイノベーションにつなぐ

古森 重隆（富士フィルムホールディングス会長・CEO）

- いかに世の中に新しい発見があったとしても、それだけでは社会に価値をもたらすことはできない。発明を社会的価値に変えるためには、企業による商品化のイノベーション（革新）が必要となる。発明は一人でもできるが、イノベーションは個人の力では起こせない。
- 社会を変えるイノベーションにつなぐには、商品の設計、量産、品質管理の技術、それを担う人材、投資を続ける資金力などの要件を備えた企業の総合的な力が必要となる。発明した製品を高品質で大量に普及させる手段がなければ、発明が世の中に価値をもたらすことはできない。発明をイノベーションに発展させることが、企業に課せられた社会的な役割だ。

（参考：「日経ビジネス」2018 年 5 月 14 日号）

古典に学ぶ

豊太閤の短所

（解説）しかし、豊太閤にもし最も大きな短所があったとすれば、それは家道の齊わなかつたことと、機略があつても、経略が無かつたことである。もしそれ豊太閤の長所といえば、申すまでもなく、その勉強、その勇気、その機智、その気概である。（参考：渋沢栄一「論語と算盤」）：国書刊行会